

令和5年度 再評価調書

事業名	老朽ため池等整備事業	地区・路線名	大師池地区
事業主体	徳島県	関係市町村	美馬市
事業概要	<p>(事業目的) 本地区は、美馬市脇町に位置し、ため池の築造から100年以上が経過しており、取水施設の老朽化、洪水吐の流下能力不足及び堤体の断面・余裕高不足により堤体決壊の危険にさらされている。 また、ため池の下流域には住居や道路等も多く決壊時には甚大な被害の恐れがあることから、堤体の決壊を未然に防止すべく早急に堤体の補強対策を行い、農業用水の安定取水と地域防災の安全度の向上等を図る。</p>		
	<p>(事業内容) 受益面積 12.0ha 受益戸数 60戸 主要工事 堤体工 1式 洪水吐工 1式 取水施設工 1式 総事業費 408,000千円 (国55% 県25% 市20%) 工期 令和元年度～令和9年度</p>		
評価	<p>(事業の進捗状況) 令和4年度までに取水施設工の一部が完成している。 令和5年度末の事業費進捗率は22.1%となる。</p>		
	<p>(関連事業の進捗状況) 該当なし。</p>		
評価	<p>(社会経済情勢の変化) 農業用ため池においては、平成30年7月豪雨を契機に防災対策への社会的関心は大きく、さらに、近年、激甚化する豪雨災害への防災意識も高まってきている。 本地区の被害想定区域には住宅、農地のほか、徳島自動車道及び県道鳴門池田線があり、地域防災の安全度の向上のため補強対策は必要である。 また、農業を取り巻く情勢は、農業従事者の高齢化や後継者不足等により厳しいものの、本地区の営農意欲は強く、安定的な農業用水の供給は必要である。</p>		
	<p>(計画上重要な部分の変更の必要性の有無) 該当なし。</p>		
評価	<p>(費用対効果の分析) 洪水吐の排水能力向上や、堤体余裕高の確保等による、堤体決壊の未然防止により、ため池下流域の農業関係資産、一般資産及び公共資産の保全による災害防止効果が見込まれる。 総費用総便益比＝総便益（現在価値化）／総事業費（現在価値化）＝3.31</p>		
	<p>(受益農家、関係機関の意向) 美馬市及び地元受益者（土地改良区）は、事業の早期完成を要望している。</p>		
評価	<p>(事業の実施方針) 継続して事業を実施する。</p>		